令和元年度　第１回須坂市男女共同参画推進委員会議事録(要旨)

〇開催日時・場所

令和元年６月６日(木)　18：00～19：32

場所　市役所本庁舎　305 会議室

〇出席者

委　員：竹前委員、髙津委員、菊池委員、荻原委員、竹前委員、
山岸委員、嶋倉委員、黒岩委員、市川委員　９名　（山下委員欠席）

事務局：中澤社会共創部長、牧男女共同参画課長、小林係長

〇配布資料

資料１　平成 30 年度事業報告

追加資料　計画内容の一部変更について

資料２　第五次須坂市男女共同参画計画 2018～2022 各課の取組みについて

資料３　2019 年度事業計画

資料４　女性参画状況について

〇委員会状況

１【正副会長の選出】

会　長　　黒岩 七女 委員

副会長　　髙津 龍一 委員

２【協議事項】

（１）平成 30 年度事業報告　（資料１）

事務局より説明

（委　員）スマイル・ママ・フェスタ in 須坂は、今年から助成金を受けて実施できたのか。

（事務局）長野県の地域発元気づくり支援金事業に採択いただき、第１回の開催から支援を受けて実施できております。

（委　員）報告内容について、市の三か年計画でも、各パートごとに開催回数や参加者数から評価できるのかについてまとめている。事業の結果だけではなく、全体的に男女共同参画がどの程度進んでいるのか、前年度や３年前との比較や新規事業の報告があれば、事業内容から共同参画の意識が高まっているのか見ることができ分かりやすい。次の事業の論議にも繋がってくると考えます。

（委　員）比較するものがあれば、内容も分かりやすくなると思います。

（事務局）ありがとうございます。

（委　員）審議会委員等における女性委員の割合が 2022 年度 40%の目標があるが、平成 30 年度 35.2%で前年度の割合は。

（事務局）平成 29 年度は 35.1%となっております。

（委　員）男女共同参画の推進について、比較があると業績があったのかわかりやすい。ほかに数値的に表現できるものはあるか。

（事務局）5 年ごとに調査している性別による役割分担意識部分については、良い方向に向かってきています。また、皆さんの関心が高まってきていることは学習会を開催する中で感じることができます。平成 30 年度事業では、ワークライフバランス推進の一般市民向けの研修会や広報啓発として男女共同参画習慣に合わせてのパネル展示や（株）グーライトに委託し番組を制作し広報するなど新たに実施をしてまいりました。

（委　員）5 年ごとに調査を実施しているのか。

（事務局）5 年ごとに調査を実施しており、結果から進捗を見ていくことができます。

（委　員）今後は、前年度との比較になる数値があれば出していく。

（委　員）男女共同参画が進んだことは、感覚でわかるが、人によって受け方が違い、全く進んでいないという意見がアンケートでもある。
この推進委員会の中では、前年の報告に前回より参加者増えたとか、新たに実施し関心が高く大勢の参加者あったことで進んだことの指標とし、5 年ごとに評価していくことで良い。

（事務局）ありがとうございました。

（委　員）スマイルママフェスタで託児者として 3 年間参加したが、今年はお父さんが預けに来る人が多かった。育児セミナーはママの参加に限定したものではなく、参加している間子供を預かるが、お父さんが抱っこやおんぶをして預けに来られて、泣きだした子供にセミナーの会場からお父さんが鳴き声が聞こえたと 2 人ほど来られました。男女共同参画から考えると女性の活躍にお父さんも関わっていることを感じました。

（委　員）スマイルママフェスタは、1 日 1,400 人という数字をどう読めばよいか分からないが、これだけ参加者がいるのであれば反省会等の中で１回を２回開催してみようという意見は出ないのか。

（事務局）実行委員を市民のボランティアでやっていただいている。準備期間も半年かけてやっているので、今は１回開催でやっていて意見もありません。規模を小さくすれば可能かもしれないが、皆さんやりたいという方向になれば色々なやり方を自分たちで考えて、企画して資金も集めてやっていける形になっていければと思っていますので、また話し合いで聞いてみたいと思います。

（委　員）この 1,400 人の中には、赤ちゃん、子供はどれぐらいか。1／3 ぐらいか。大人がかなり多いと思うが。

（事務局）子供もたくさん来ていだきました。お父さんやお母さん、連れ添いの方も参加していただきました。

（委　員）運動会が重なった小学校のお子さんは来れなかったと聞きましたが、ブースがたくさんあったりとても楽しそうでした。

（２）計画内容の一部変更について　（追加資料）

事務局より説明

了承（各委員より質疑・意見なし）

（３）第五次須坂市男女共同参画計画 2018～2022 各課の取組みについて（資料２）

事務局より説明

（委　員）農業委員に女性は何名入っているか。
（事務局）２名です。
（委　員）地元は農業が多いため、農業委員に女性が多く入ってもらいたいと思っている。今まで３人とか４人のときはあったのか。
（事務局）今季より以前には、３名の時がありました。現在は、団体推薦でマイスターから１人、食生活改善推進協議会から１人推薦されています。農業委員会では引き続き団体に推薦をお願いして女性の農業委員を選出していきたいと聞いています。
（委　員）地域学習会の中で防災活動について開催しているが、成果はありますか。
（事務局）出前講座のメニューとして、男女共同参画の視点で考える避難所づくりの問題が、災害が全国各地で多いということもあり、皆さん非常に関心が高く取り入れてくださった町が昨年度、その前の年も多くありました。ＤＶＤで避難所における男女のニーズの違いや日ごろから地域活動に男性も女性も参画していなければ万が一の時に対応が難しい、困難が生じるといった視点から地域活動に女性も男性も積極的に参画するようにということで学習会をしてきております。もう一つＤＶの関係で昨年度開催し、２町で取り入れていただきました。虐待事件、児童虐待、ＤＶのニュースが多かったことから、正しく理解して地域の皆さんの周りでそのようなことが疑われる人がいたら話を聞いていただくなり、市役所の方に相談していただくことを促しつつ学習会をしました。
（委　員）この辺は災害が少ないが、災害があった時には女性の力は大きなものになるのでそこをしっかり学んでほしいと思います。
ある地域で、救急車が出るときがあるが、救急車が出動するときに救急隊に女性を１人乗せてほしいということをよく聞くが、須坂市ではどうなっているか。
（事務局）女性の消防士は２名いるが、救急隊として救急車に乗っているのか、体制がどのようになっているのかはわかりません。
（委　員）これから考えていかなければいけないところかと思います。
（委　員）地元の周りは農家が多い。男女共同参画では、農業は女性がいないと成り立たない状態で、身をもって実践している仕事、職業だと思ってやっているところです。
（委　員）農業の方は女性の力がすごく大事だと思っています。
（委　員）第五次須坂市男女共同参画計画は、市の総合計画と連動しているのか。
（事務局）連動しています。

（委　員）５年間で情勢は変わるが、第五次須坂市男女共同参画計画は、見直しとか中間で締めることはないのか。

（事務局）市の根幹の計画は総合計画になる。この計画も総合計画にすべて沿っている。総合計画は 10 年の計画で前期と後期に分け 5 年で見直し、その他に実際にそれぞれどうするのかについては 3 年ごとの実施計画で毎年見直しをしてやっていく。先ほどありましたこの事業はどうか、効果はどうなのかを参考に行政評価をしながら、また見直しをしながらやっている。総合計画に対することはそういったことにあって、その中には様々な課の事業が入ってきますので男女共同参画の関係だけで見直すことではないが、見直しをしながらやっています。

（委　員）自分の町では、女性の役員を入れるため、町のしくみや規約とか男女の役員についても 10 人の委員を選抜して話し合いの場を作った。今までは町で何かを決める際には元の区長何人とか出てきて経験を活かして決めるというやり方が多かったが、今年は色々と抵抗があったが、様々な層から育成会や女性も 2 人入ってもらって、1 回目開催し、2 回目は諸課題、何をやるかをあげて、たたき台を作ってやっていく。学習会もいいが基本的にそれでやっていかないと仕組みはかわらない。

（４）2019 年度事業計画について　（資料３）

事務局より説明

（委　員）スマイルママフェスタ in 須坂について、今年度事業としてすでに開催していますが、本日開催された子ども子育て会議の中で、県からの補助金が来年から交付されないとお聞きしたが、来年度の開催はどうなるのか。

（事務局）実行委員会の中で少しずつ議論を進めていまして、県の補助金がなくても、スマイルママフェスタをこれだけの皆さんに楽しんでいただけて、自分たちの考えを活かしてやってきたことを続けたいという考えでいます。中心になってくれるメンバーも固まっていますし、続けて開催していく方向でいければと思っています。財源の確保は、出展者の皆さんにいただいている協力金や企業の皆さんにいただいている協賛金をどの程度見込めるのかで考えています。会場の確保については、市の方で考えていかなければいけないというところを要望で聞いていますので、話し合って進めていければと思っています。

（委　員）3 年続けて盛り上がってきている。ぜひ来年もやっていただきたいと思っています。

（事務局）後援もいただき、周知して皆さんに参加していただくことで、社会全体が男女共同参画であったり、男性も女性も子育てとかそういった意識が生まれてくると思いますので引き続きご協力をお願いします。

（５）女性参画状況について　（資料４）

事務局より説明

（委　員）女性参画状況の№17 須坂市男女共同推進委員会で実数は 9 人でよいか。
（事務局）4 月 1 日現在となっております。現委員は 6 月 1 日付けの委嘱になります。

（６）その他

（委　員）一点確認しておきたい。男女共同参画推進員会の役割が規約の 23 条の（1）から（5）まであり内容は良いと思っているが、第一回の会議が 6 月に開催しているが、4 月 1 日から事業は始まっていて。推進会議はそれを推進する施策を皆で討論するという位置付けということで良いですか。5 年ごとの計画を作る前段階では何をやっていくのか意見の反映はされる。今は決まっているから、若干の変更はあるけれど、委員としてはそれをどう取組み、事務局がこういうことをやったほうが良いということを要望するということで、計画自体の良い悪いの評価はしないということを確認したい。
（事務局）ご認識の通りです。計画策定の時に色々ご意見をいただいています。須坂市の第 6 次総合計画を今年作り始めている。その中では男女共同参画の分野では、皆さんにご意見をお聞きしながら総合計画に反映できるようにお聞きしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。
（委　員）推進委員会は 1 回ですか、本年度の開催はないとうことでよいか。
（事務局）第 6 次総合計画は 2 年かけて作っていきますので、どの時点でのタイミングでお聞きするのかということは考えさせていただきたい。
（委　員）予算も成立している。その中でやってくれと言われても無理な話。具体的に、この委員会では推進方法など意見反映させるという位置付けで承知いたしました。

３【その他】

（事務局）・6/22（土）男女共同参画セミナー「男性も女性も家事も仕事も」主催長野県共同参画をめざす会須高支部フォーラムが旧上高井郡役所で開催されます。ご都合がつくかたは是非ご参加ください。
・冊子、新聞等を配布しております。参考にご覧ください。
・7/5（金）午後 1 時 30 分から　旧上高井郡役所において、男女共同参画市民会議を開催します。詳細は近日中にご案内を送付いたします。